

GIGAスクール構想により整備された1人1台端末等の使用に当たり、市町村教育委員会や学校では、端末やアカウント(ID)等の年度更新を円滑に進める必要があります。今号では、年度更新を行う際に参考となる資料等を紹介いたします。



GIGAスクール構想 年度更新タスクリスト

GIGAスクール構想におけるクラウド等を利用した1人1台端末環境では、従来のコンピュータ室での端末配備状況とは異なる年度更新作業が必要となることから、文部科学省では、「GIGAスクール構想 年度更新タスクリスト」を作成しました。市町村教育委員会や学校において、年度更新を円滑に実施するための作業計画を立てたり、取り組む内容を決定したりする際の参考として、タスクリストを御活用ください。

※画像をクリックすると、資料が開きます→

GIGAスクール構想 年度更新タスクリスト

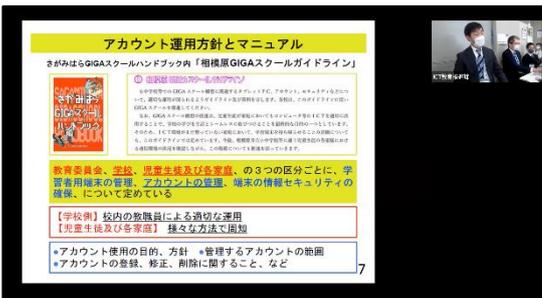
GIGAスクール構想におけるクラウド等を利用した1人1台端末環境では、従来のコンピュータ室での端末配備状況とは異なる年度更新作業が必要となることから、文部科学省では、「GIGAスクール構想 年度更新タスクリスト」を作成しました。市町村教育委員会や学校において、年度更新を円滑に実施するための作業計画を立てたり、取り組む内容を決定したりする際の参考として、タスクリストを御活用ください。

- 複数のアカウントが存在することを防ぐために、年度更新作業においてアカウントの管理が必要となる場合があります。更新作業時、全体のスケジュールが変更になる可能性があります。【アカウント(ID)の更新】
- 各学年の必要な端末は前年度の更新状況を確認し、年度更新作業については、年度ごとに確認する必要があります。年度更新時、更新に当たっては更新の対応を進めるような体制を整えることが重要です。【更新の要否】
- 海城、聖山、国府、市立等において、学級担任等による端末の更新作業について、年度ごとに確認する必要があります。【更新の要否】
- 学級担任等による更新作業は、年度更新時には、年度更新作業を進めるために、年度更新作業を進める必要があります。年度更新作業を進めるための体制を整えることが重要です。【更新の要否】

これらの4つの観点から、取り組むことが望ましい具体的な更新作業、タスクリストとしてご活用いただけます。このタスクリストでは、更新作業のイメージとして【更新作業】【更新】を掲載していますが、取り組む際には、実施担当者や児童生徒自身の関わりも含め、教育委員会や学校の実情に合わせて役割分担を調整していただきます。また、更新作業の進捗管理やアカウントに関する作業などを行うことにも留意してください。

ICT Short Sessionの開催

令和4年1月、1人1台端末等の年度更新に係る市町村教育委員会の対応について情報交換をするため、オンラインによるICT Short Sessionを開催しました。教育委員会担当者からは、「先行して取り組んでいる自治体の状況を聞くことができ参考になった」「卒業生のアカウントの取扱いについて早い段階で方向性を決めた方がよい」などの意見が聞かれました。



ICT教育推進課と市町村教育委員会等をオンラインでつなぎ、ICT Short Sessionを開催

年度更新に関する自治体の取組状況

文部科学省「StuDX Style」の特集ページには、これまでにクラウド等を利用した1人1台端末環境での年度更新を実施した自治体の取組内容や工夫、課題とその対応策などが紹介されています。

本資料は取組の一事例ではありますが、年度更新作業を行う際の参考としてお役立てください。



<https://www.mext.go.jp/studxstyle/special/11.html>

